

第1回基本問題審議会 開催報告

日時：11月11日(月) 午後2時～

会場：全麺協 研修センター
(東京都台東区西浅草)



次第

委嘱状の交付

中谷理事長あいさつ

委員の自己紹介

【会議】

1.(一社)全麺協の現状説明

2.審議会への諮問事項

(1) (一社)全麺協の向かうべき方向

- ・定款の目的
- ・当法人の存在意義
- ・素人そば打ち段位認定制度の今後
- ・素人とプロのはざま

(2) (一社)全麺協の組織改編

- ・会員、会費制度
- ・本部組織
- ・支部組織

(3)六段位の創設とその位置付け

(4)研修センターの効率的活用

委員

No.	役職	氏名	No.	役職	氏名
1	全麺協 理事長	中谷 信一	8	和食文化国民会議理事	大久保洋子
2	日麺連前会長	鵜飼良平	9	全麺協 副理事長	板倉敏和
3	松蔭大学教授	古賀 学	10	〃 〃	山本 剛
4	ジャーナリスト	千秋 健	11	〃 専務理事	加藤 憲
5	柴田書店元編集長	永田雄一	12	〃 事務局長	藤間英雄
6	信州大学名誉教授	井上直人	13	〃 北海道支部長	山本良明
7	日本大学教授	山崎 憲	14	〃 広報渉外部長	谷端淳一郎

会議概要

(一社)全麺協の前身である全国麺類文化地域間推進協議会が平成5年に設立され、平成9年にはそば打ち段位認定制度が導入されて段位認定者は800人/年増加しています。平成25年には一般社団法人化され、四半世紀以上に及ぶ組織変遷の中で、全麺協の永続的発展を考慮すると幾つかの解決すべき課題があります。「基本問題審議会」はこれらの課題について、全麺協と深い関わりを持つ外部の専門家を交えて審議し、全麺協が進むべき方向を明らかにしようとするものです。

会議は最初に加藤専務理事が、パワーポイントによって全麺協の現状と諮問する審議事項の説明を行ないました。その後、委員からは全麺協がサステナビリティ(持続可能性)を願うならば、若い人達を取り込む以外に方法はなく、大学では学生が身体を動かしながら一緒に取り組む事で身に付ける学習が求められているが、人手不足なので全麺協有段者の協力が有効であり、有段者にとってもステータスアップになるのではないかと。大学の学園祭は教員がいなくても出店できるので、「そば打ち体験教室」を実施してはどうか…等、大学と連携した活動の提案がありました。また、茶道や武道には「守破離」という考え方があり、六段位は「離」にあたるので実験的要素を盛り込んでどうか。

研修センターは調理道具街が近く、外国人も多いので活用が非常に面白い。また、本山東本願寺が近くなので、法事やお茶会にそばを組み合わせてはどうか等の具体的な提案が次々に出されました。

(報告:広報渉外部 谷端)